

フレンドシップ フォース インターナショナル
2012年クラブと交換ポリシー

2011年3月14日FFI理事会により更新

このポリシーと方法はFFIの理事会によって改訂され、すべてのフレンドシップフォース活動の運営に適用governされます。追加情報や指示書については、FFIのウェブサイトで見るとか、アトランタにいるFFIスタッフにお尋ねください(全てのフィーはUSD表示です)(なお、日本のクラブで注意すべき所を太字にしました。)

A. フレンドシップフォース・クラブ

Friendship Force Clubs

FFクラブは各々の地区または地域で、受入や渡航交換を実行して、FFミッションを推進する目的のためにFFIから認可されています。それぞれのクラブは独立した組織で、FFIの支部ではありません。全てのクラブは書式にのっとった会則を持ち、ボランティアベースで活動し、会長は会員の中から選ばれ、それぞれの地域の伝統や法規に沿って組織されています。

クラブは、ロゴ、その他、商標登録されたものを適切に使用し、FFIクラブ・交換ポリシーに従います。活動を続けるためには、クラブ役員がFFIポリシーを承諾する事を記した**Charter Renewal Form(認証更新届)**を、毎年FFIに提出してください。**Club affiliation fee**は全会員分一括払いで、チャーターリニューアルフォームと一緒に支払うこと。

レギュラー交換活動に加えて、クラブはFriendship Force missionを促進するために、地域において、年間を通じ広範囲な活動を計画することをお勧めします。これはクラブの親睦活動ばかりでなく、地域の他の国際交流活動プログラムと連携することも含まれます。

レギュラー交換や地域のイベントに加えて、クラブは補完活動supplemental exchangeとして他クラブと交換活動に参加できます。それは……

Domestic exchanges, European interclub visits or Stopover hospitalityなどです。

(詳細は、8ページのCセクションにある)

補完活動として、これらは**正規の交換が確定してからのみ計画を許されます**。これらは無論クラブの責任においてポリシーのガイドラインに沿って計画され、規定のフィーappropriate feeを払います。

2012年のチャーターリニューアルフォームは、2012年1月15日までに、個人10ドル、ファミリー17ドルのクラブフィーと共にFFIに送ってください。その数は2011年末の会員数に基づきます。

B. 交換ポリシーとフィー

Exchange Policies and Fees

1. クラブ交換Club Exchange

フレンドシップフォースのクラブ交換は、毎年FFIによって、交換に関わるクラブのさまざまな要素、履歴や交換の希望、動員能力club history, preference and availabilityなどを考慮して割り当てられます。

一つの交換人数は**20人～25人のアンバサダーが標準で、外国の受入ホストの地域に、1週間(5～7泊)のホームステイ体験する旅をするものです**。それ以後は、希望があって、しかも受入れるところがあれば、2週目、3週目のホームステイも加えられます。

交換アンバサダーとして参加する人は申込書を提出します。アンバサダー側、受入側共にプログラムに適合できるかどうかを注意深く選定します。渡航アンバサダークラブはホームステイ経験をする市民に相応しい人をリクルートする責任があります。受入クラブは、訪問してくるアンバサダーに、地域で家庭を開放してくれる市民をリクルートし、準備する責任があります。

交換は、双方のクラブで指名されたボランティアのExchange Director(ED)がリードして、FFIが規定した交換ポリシーに従って実行されます。

2. **NEW!** スペシャル交換プログラム Specialized Exchange Programs

基本的なクラブ対クラブの交換に加えて、幾つかの特別な交換形式が提供されています:

a. テーマを持った交換 Themed Exchange が、ホームステイ体験として、特別に注目されています。テーマは好み共有できるもの(ハイキング、バイク旅行、キルト、ワイン作り、文化イベント参加、文化交流フォーラム、多世代グループ交換など)、教育的なもの(先生または学生)、人道的プロジェクト、語学学習など。アンバサダーEDは、FFIや相手クラブと共同でユニークな日程をデザインし、テーマに興味を共有できるアンバサダーをリクルートします。アンバサダーは複数のクラブから集まるか、何処からでも参加できるようにオープンにすることも有ります。

b. グローバル交換 Global Exchange
世界の何処からでも参加できるようにした交換です。しばしば、特別なテーマを持つもの、文化理解に焦点を当てるものがあります。グローバル交換は受入クラブが全て計画し、FFIがインターネット・マーケティングでリクルートをするという形が増加しています。

c. ディスカバー交換 Discover Exchange
短いホームステイと旅行・地域の文化体験を混合した日程を提供します。場所はFFIによって選ばれ、新クラブを立ち上げる目的の場合もよくあります。

**d. 他組織と提携したプログラム
Partnership and Contract Program**
FFIはチャンスがあれば、他組織と協力関係に基づく交換を提供してまいります。こうしたプログラムは、独自のポリシーや進め方、フィーがセットされます。

3. **EXCH** エクスチェンジ・ディレクター (ED) Exchange Directors

エクスチェンジディレクター(ED)は、交換成功のために指導力を発揮します。EDは交換計画達成のために、そのクラブで選ばれ、FFIに報告します。特別交換のEDは、クラブ又はFFIに指名されます。エクスチェンジ ディレクターマニュアルが、交換成

功のガイドとしてFFIから提供されます。EDの選出に交換の成功の如何がかかっているため、この指名作業を真剣に行います。候補者達の、今までに証明された指導力や交換経験などを考えに入れて決めましょう。

4. **AMB** アンバサダー及び受入ホストのリクルート Ambassador and Host Recruitment

渡航アンバサダーEDは、受入クラブが受入可能な数に相応した参加者をリクルートしていきます。応募者が多い時には、ウェイティングリストに書いておきます。受入EDはアンバサダーとマッチしそうな受入ホストをリクルートします。大抵の場合、アンバサダー数目標は20~25名です。15名未満の場合は、引き続きリクルートを続けますが、FFIの指導の元で、関係クラブで協議し、中止の指示をされる場合があります。

EDはクラブ内と同時に地域を広範囲に見回して、最適なアンバサダーや受入ホストを見つけるよう努力します。交換に参加するのに必ずしも会員でなければならないということはありませんが、クラブは選択できるのなら、最初の交換に参加する時に会員になってもらうようにしましょう。

応募者を選考する時には、FF組織の最終目標を理解してもらうよう配慮しましょう。クラブは、サインをしたら自動的に交換をしなければならないというような無理は避けましょう。

アンバサダーEDと受入EDは交換を成功に導くために**EDマニュアル**に従うようにしましょう。マニュアルはFFIのウェブサイトから取り出せます。また、**DVDのトレーニングプログラム**も要望によってお渡します。

5. **HEALTH** 健康度と行動力 Health and Mobility

フレンドシップフォース交換は、包括的であることを意図しています。あらゆる年齢とバックグラウンドの人々の参加を歓迎してきました。これは、子供、青年、大人、高齢者、そして障害のある人も含まれます。しかしながら、特別に手のかかる**with special requirements** 応募者の場合は、予め受入EDが、受入クラブがこうした要求を満たせると、了解を与えた場合に限りです。これは受入クラブと同時に、当該アンバサダーが安全で快適な交流を確保するためです。

加えて、特に何か手助けが必要な応募者がいる場合には、FF交換にはバリエーションがあり、プログラムの日程とともに受入クラブの状況が、自分の身体的能力レベル *level of physical activity required* で可能かどうかを認識して貰うことが大切です。ですから、**アンバサダーEDは以下のガイドラインに添って、交換に必要な身体的能力 *physical requirements* がある応募者のみを認めるべきです。** EDが、応募者に問題があると思った時には、FFIスタッフとも相談して応募者と話し合ってください。

**a. 受入EDは、アンバサダーEDに、交換中に必要な身体活動力 *physical activity* のレベルを知らせます。交換中に歩く距離とか住居の状況、移動交通手段などについて、です。
(この事項を補助するチェックリストを、FFI が提供します。)**

アンバサダーEDは交換参加了承前に、アンバサダー応募者 *ambassador applicants* に、この情報を見せて周知徹底します。EDは、応募者の交換参加を認める前に、その人の身体的能力 *physical requirements* が合致しているかどうかを良く見極めましょう。

もしアンバサダーEDが、身体的に無理な人、或いは特別な配慮 *special needs* の要する人を連れて行きたい場合は、まず受入EDに相談してください。受入EDがその人を安全に快適に泊めることができると言ったら、その人を加えてあげてください。

b. アンバサダーEDは、健康に関するアンバサダー申込書の質問に、真剣に、答えを書くように参加者に求めましょう。こうした質問は、参加者自身の安全に関わることで、正直に書かなければなりません。 もし、アンバサダーが正直に、本当の情報を提供していないことを見つけた場合、その参加者は費用自己負担で、交換から外れることになるでしょう。

c. なぜなら交換は平常とは異なる身体的能力 *physical requirement* を要求されますので、アンバサダーEDは申込者を自動的に認めてはならないのです。 EDからみて身体的能力があると分かった人のみが、参加すべきなのです。

d. もしアンバサダーEDが、応募者の交換での身体的能力に懸念を感じた場合、その人の体力に関する書類提出を求めても良いでしょう。 EDの判断に置いて、参加者の健康に関する

医者の診断書を含む要求は、交換を安全に実行する上で、必要です。こうしたケースでは、EDは医師に、交換活動の内容やホームステイ先の住居の状況について、正確な情報文書を提供すべきです。

ノート：この条項はアンバサダー応募者の健康と安全を守るためのものです。

e. 受入ホストの適応力 *Host capabilities* :

アンバサダー参加者の身体的能力の問題が基本的に重要である一方で、受入EDもまた、質の高い受入ホストを見つけるべきです。受入ホストは、アンバサダー個人の動きに対応しながら、交換プログラムの様々な活動にも出席することを望まれるので、これらに対応できることも考慮に入れて、選定されることになります。その上、もし受入ホストがアンバサダーのために交換中こうした問題に煩わされるとしたら、本当にすべてをクリアできる質の高いホストのみしか受け入れられないということは明白です。

受入クラブはデイホスト、そのほか必要なサポートで、受入ホストを支援しましょう。

6. NEW ! アンバサダーを他の地域からリクルートする *Recruiting Ambassadors from Other Communities*

旅行の多様性に伴って、Eメールやオンラインカタログを通しての交換募集が増え、アンバサダーが世界の何処からでも参加できるようになりました。その結果、アンバサダーEDは、自分の地域よりも外に目を向けて、質の高い参加者を集める傾向があります。こうした応募者は事前にワークショップに参加したり、EDと直接顔を合わせたり出来ないのも、質の高い参加者だけを集めるのには、別のテクニックが必要になっています。アンバサダーを地域外から集めたいと思っているEDの皆さんは、以下のガイドラインに従ってください：

a. 改訂された 2012年のアンバサダー申込書には以下の文章があります。

『応募者がEDと直接顔を合わせるべきイベントに来られない場合には、自己紹介、その他の参考書類を提出することを求められます。』

これで、EDは、応募者の諸書類をリクエストすることが出来ます。

b. EDは、Eメールや電話で応募者と連絡を取り合うことが望ましいです。 もし応募者が外国の人だった場合、EDはFFIに協力を依頼し、応募

者に直接コンタクトを取って、インタビューをして貰うことが出来ます。EDは、数回の会話か、Eメール等で、交換に関する具体的なことや、その人がどうして交換に関心を持ったかなど、連絡を取り合った方が良いでしょう。

c. もし話し合った後で、EDが、その人を交換に参加させたいと思った場合は、少なくとも1回は、応募者の、推薦書類*references*を手に入れるようにしましょう。これは、応募者の所属クラブ会長か、別のクラブ印がある資料でも良いでしょう。推薦書を求められたクラブは、EDの質問に正直に答えるようにしましょう。応募者は更に、EDがコンタクトを取れる、1~2人のFFクラブ以外の推薦者を提出するよう求められることもあります。応募者がFFクラブ現会員でない場合、少なくとも2つ以上の推薦状を手に入れると良いでしょう。非会員でも、その人の住むところにFFクラブがある場合、そのクラブの会長さんに、直接会ってもらおうよう頼むこともできます。

d. EDは、地域外の参加者にも、地域の参加者に配る交換ワークショップの資料と、同じものを提供するようになります。交換前のコミュニケーションをよくするために、EDは、すべての応募者と、相互Eメール交流連絡網を構築しても良いでしょう。

相応のFFIフィーが、それぞれの交換に発生します。フィーは交換活動をサポートするためと、また、FFIを強力な国際組織として維持して行くのに必要な資金として使われます。FFI財務の詳細な説明文書は、FFIウェブサイトのClub Resourcesセクションにあります。

a. それぞれのアンバサダーは、FFIにアンバサダーフィーを支払います。アンバサダーフィーは交換出発の60日前までに*before the exchange depart* 支払わなければなりません。2012年のアンバサダーフィーは、1週間(5-7泊)での交換で、アメリカのアンバサダーは150ドルで、アメリカ以外のアンバサダーは1週125ドルです。

b. スペシャル交換*Specialized Exchanges*: スペシャル交換フィーは、FFIフィーと全ての正式な交換プログラムフィーが含まれます。それぞれの交換がユニークで、フィーの合計はプログラムの長さやコストにより異なります。コストはEDにより提案され、FFIが検証し、包括的な値段として発表します。

c. 補完的な交換*Supplemental Exchanges*: **セクションC(注: 8ページ)**をご覧ください。こうした活動のフィーを確認してください。

7. リクルートの切 *Recruitment Deadline*

アンバサダーリストは、交換出発の60日前までに、*before the exchange depart* 受入クラブとFFIに提出しなければなりません。それぞれのアンバサダーと受入ホストは、アンバサダー申込書と承認書を完成し、サインします。EDがこの書類を保管します。締め切りが守られない場合は、交換の延期やキャンセルの対象となる可能性があり、その場合、受入クラブは他のクラブの受入れをすることとなります。

8. FFI アンバサダーフィー *FFI Ambassador Fee*

クラブ間のどんな活動も宿泊を伴うものは正式なフレンドシップフォース活動とみなされます(唯一の例外は近くのクラブ間の1~3泊交換です)。FFI理事会により制定され、FFIポリシーにのっとり、

9. ローカル・アンバサダー・クラブ予算 *Local Ambassador Club Budget*

交換の渡航側の準備費用として、1人25ドルまでを交換費用に加算することができます。これは交換準備事務費用で、地元クラブで処理します。これはアンバサダーが交換に参加できなくなっても、交換自体がキャンセルになっても返金されません。

10. 受入クラブのプログラムフィー *Host Club Program and Fees*

受入クラブは、責任を持って興味深い文化的なプログラムをアンバサダーのために用意します。グループとしての活動だけでなく、受入EDはアンバサダーが受入ホストと十分な時間を持ち、その地域を探検できるような機会を与えているかどうかにも気を配ります。家の外での個人的な行動の経費(受入クラブの計画でないものは、アンバサダー自身が払うべきです)。

a. 受入クラブプログラム用としてアンバサダー1人につき1週間(5~7泊)100ドル(EDも含まれる)を支払います。フィーはグループ全体のウェルカムパーティ、またはフェアウェルパーティ、ディナー、そして受入クラブの街または地域の素晴らしい文化を紹介するグループ活動のために使われます。フィーはまた、受入クラブの決断でこうした活動に受入ホストが加わっている場合にも使われます。

b. 場合によっては、受入EDが、100ドルのホストフィーでカバーしきれない活動を勧める場合があります。こうした活動はオプションです。**アンバサダーEDが同意した場合に、受入クラブのプログラムフィーは増加されます。**しかし、受入クラブフィーが100ドル以上になった場合は、受入クラブEDは、活動のすべての予算を開示します。**基本文化プログラムと追加プログラム双方の交換前と交換後の実際の経費を示す必要があります。**

c. 受入クラブのプログラムフィーには到着場所からホストの住む地域へ行く交通費は含まれません。翌週の交換やツアーへの移動などの、いかなるプランも出発地へ戻る交通費も含まれていません。受入EDがアンバサダーEDに頼まれてこうしたアレンジをする場合は、コストは予め知らせて了解をとり移動またはツアー費用として処理されます。これは受入クラブのプログラムフィーには含まれず、別口で扱われるもので、アンバサダーEDと受入ED間でアレンジされます。

d. クラブによっては、受入クラブフィーが必然的に100ドルを超えてしまい、FFIも承認しているところがあります。これは、その街のスタンダードなツアーの値段と交換中のアンバサダー交通費がかかってしまうことによるものです。アンバサダーEDは交換の計画段階で、この状況を知らされる筈です。

e. **受入クラブのプログラムフィーは、通常、アンバサダークラブから直接受入クラブに、双方の納得する形で送金します。**FFIに認められた口座はこの限りではありません。**受入クラブフィー100ドルは出発の60日前未満less thanにキャンセルされた場合は返金されません。**確定アンバサダー分のフィー支払いが遅れた場合には、FFIが、先にそのフィーを仮払いし、アンバサダークラブから、FFIが集金します。

11. アンバサダーEDの特典

Earned Seat for the Ambassador ED

アンバサダーEDが交換(補助的な交換も含む)に際しての基本費用の一部を適切に軽減されます。この**“ED特典”**は、EDが交換全般に責任感を自覚し、交換をリードしていくモチベーションを与えることにもなります。各クラブでも、この**“ED特典”**をクラブ内文書にして、周知徹底し、全ての会員がこのことを知っているようにすべきです。EDはクラブポリシーに従って交換の費用を決めていきます。他のクラブの交換に参加する場合は、アンバサダーEDのクラブ規則に従うようにします。

a. *FFI Ambassador Program Fee* :

アンバサダーEDは交換のアンバサダーとしてFFIに払うフィーを**最少15人以上から段階的に割引されます。20人以上のアンバサダーを集めた場合、EDのFFIフィーは全額免除となります。**

b. **その他のフィー:**アンバサダーのクラブの規則によって異なりますが、ED特典としては以下のものを含むことができます。

(a)渡航先までの旅費~片道又は往復、

(b)交換中の旅費とツアー代、

(c)受入クラブプログラムフィー。しかし、オプション旅行費用やパスポート取得、ヴィザ取得費用等は適しません。

12. FFI の交換監視と監督

Oversight and Monitoring of Exchanges

全ての渡航と受入交換が、高いレベルでの文化交流を維持していることを確認するため、FFIはそれぞれの交換の計画作りとリクルートの様子を監視しています。

これは:

(a)EDの選択時期が適切か、

(b)最終的な日程と費用算出の確定タイミング、

(c)質の高いアンバサダーや受入ホストのリクルート、

(d) FFIのガイドラインに沿った適切な費用の支払いなどです。

要請があった時、アンバサダーEDは交換の詳細、リクルートの進行状況、アンバサダー予定者達の名前と年齢、フィーの支払い状況などを提出できるようにしておきます。こうしたインフォメーションは交換が適切に進行しているかどうかを判断するのに有効で、他のクラブや地域から、またFFIからの更

なる助力が必要な場合にも有効です。

多くの場合、交換が困難になりそうな時、早めに手を打つことが成功につながります。それでもアンバサダーのリクルートが成功しない場合、FFIは交換をキャンセルまたは延期し、FFIの持っているウェイトリングリストの中から別のクラブのホスティングを提案します。

13. ヴィザ Visa

近年、幾つかのクラブは、渡航用のヴィザがなかなか降りなくて苦勞されています。結果として、FFIは計画した交換を修正しなければならないことがあります。受入クラブはこうした困難な状況を認識し、これこそFFの使命が一番求められる大切な事態と理解してください。受入クラブは、こうした国からの受入をFFIと協力して更に励まして進めるべきで、アンバサダークラブを交換に引っ張り出すようにしましょう。

受入クラブのところに行くのに、どのようなヴィザが必要なかを明らかにするのはアンバサダーEDの責任です。交換が決まったら、出来るだけ早く用意すべきです。ヴィザ取得に関する問題の可能性があったら、以下のステップを踏んで進めて下さい。

a. アンバサダーEDは、訪問国の大使館か領事館に出来るだけ早く行って、ヴィザを得るためにどんなステップが必要かを聞きます。

b. FFIと受入クラブはフレンドシップフォース体験のための書類作成の手伝いを直ちに行います。しかし、アンバサダークラブは、個々のホストファミリーの経済的なサポートを含む私的な招待状を貰いたいという要求をすべきではありません。

c. アンバサダーEDは、すべての参加者を審査して、帰国しないリスクのある人は交換への参加を断りましょう。これは大変重要なことで、何故なら、どんな犯罪でも、将来、フレンドシップフォースのアンバサダーがその国に入るヴィザを得られなくなってしまう困難を招く恐れがあるからです。

d. アンバサダーEDは、できるだけ早く、全応募者のヴィザ取得のインタビューを受けられるように準備し、ギリギリ最後にヴィザが決まるようなリスクを防ぐこと。

e. 受入クラブは、ヴィザ発給決定はアンバサダークラブのコントロールを超えるもので、決定が最後の瞬間になることも、しばしばあることを認識すべきです。こうした場合、クラブは受入をFFIと協力して更に励まして進めるべきで、ヴィザが出るまでは、プログラムを最終決定せずに、柔軟性を持って対処して下さい。幾つかのケースでは、交換開始直前まで、ホスティングとプログラムのアレンジを待つ場合もあることを意味します。

14. 青年アンバサダー Youth Ambassadors

a. 青年のアンバサダーフィーは通常のFFI交換フィーから50%割引(補助的な交換も含む)となります。割引は青年アンバサダー用に特別企画された交換には適用されません。それは既に特別フィーになっているからです。青年アンバサダーは18歳以下の人、または26歳までのフルタイムの学生に限られます。2歳以下の親と一緒に参加する子供はアンバサダーフィーもホストフィーも徴収されません。

b. レギュラー交換とは別に、FFIは学生や若い人たち向きの特別な交換を計画することがあります。こうした若い人たちの交換には、アンバサダー側・受入側両方のリーダーによって日程内容が計画されます。費用を設定し、このスペシャル交換にあった受入先や、保護者会員なども立案します。交換に先立ってアンバサダーEDは受入EDに、それぞれの参加者の医療保険、両親の承認書や法的保護者の認定書など全ての書類を整えて、提供します。若い人たちの交換すべての計画内容は、価格も含めて、FFIの承認を得ることとなっています。

c. 親が同伴しない18歳以下の子供は、どのフレンドシップフォース体験に参加する場合でも、親が指名した保護者の同伴が必要です。FFIは、交換マニュアルの正式書類をonlineで用意しております。また、16歳以下の子供は近親者または保護者と一緒に、同じ家に泊まることとします。

経過をたどる時にお手伝いし、必要な書類は何時でも出します。アンバサダークラブのローカルフィーは、どの場合も、返金はありません。

15. 旅行保険 *Travel Insurance*

全FFアンバサダーは、もしもの場合に備えて、然るべき旅行傷害保険に加入することが求められます。その条件を満たすには以下の方法があります：

- a) 現在アンバサダーが入っている保険が海外旅行もカバーする場合
- b) FFIがwebsiteで勧めているもの
- c) 旅行傷害保険パッケージに入る。

アンバサダー申込書と許諾書には、以下のように記載されています：“私はここに交換中の適切な旅行と医療の保険に入っていくことに同意いたします”。EDは、アンバサダーが保険放棄の書類にサインしていたり、安全な保障が確保出来ない保険を選んでないか、判断します。

16. 交換評価 *Exchange Evaluation*

交換終了後30日以内に、アンバサダーED、受入EDどちらも、FFIが用意している交換評価表に書き込んで提出します。もしその中にかなり否定的なコメントがあった場合、FFIは、関連のクラブに連絡を取り、それを正す然るべき行動をとります。評価の結果はFFIに記録として残り、将来の交換の組み合わせ決定の参考に致します。いつも大変素晴らしい評価を受けるクラブは将来の交換で優先権が与えられます。一方で、いつも貧弱な評価のクラブは、FFIが注意深く観察していきます。問題が解決されない場合は、そのクラブが、FFの交換において適正な行動を取れる可能性が見られるまで、交換活動を見送る場合があります。

17. アンバサダーの交換キャンセル *Ambassador Cancellation*

もしアンバサダーが出発日の60日より前に(more than 60 days)キャンセルした場合、FFIはアンバサダーが払ったFFIのフィーとホストフィーを全額返金致します。アンバサダーが出発の60日未満(less than 60 days)にキャンセルした場合、返金はありません。

アンバサダーは旅行保険で返金を求めるようにすることをお勧めします。FFIはアンバサダーがこの

18. 交換のキャンセル *Exchange Cancellation*

FFIは、交換の準備を続ける途上で、余計なリスクがあったり、アンバサダーが危険であったりする場合に、交換自身をキャンセルする権利を有します。場合によっては、受入クラブがアンバサダーにとって適切でないプログラムしか組めなかった場合もキャンセルの対象とします。こうした場合FFIはアンバサダーEDと協力して代替りのプログラムに発展させていくこともします。加えてFFIが交換をキャンセルした場合、FFI Ambassador Program Fee と Host Club Program Feeは、全額アンバサダーに返金いたします。

19. **NEW!** 支払い方法 *Payment Procedures*

支払いはアメリカドルで、以下の3つの方法があります。

1. チェック(小切手): チェックでのお支払いはアメリカドルで、以下のアメリカ銀行口座にお願いします。

Friendship Force International
The Candler Building
127 Peachtree Street, NE, Suite 501
Atlanta, GA 30303, USA

2. ワイヤー トランスファー(銀行間送金): 銀行送金でも結構です。以下にお願いいたします。

Wells Fargo Bank, Atlanta, Georgia
Routing Transit No: 061000227
Swift Code: PNBPU33
Beneficiary: Friendship Force International
Operating Account No: 200012809-8785

3. クレジットカード: FFIのウェブサイト上で、クレジットカード払いが出来ます。(ビザ、マスターカード、又はアメリカンエクスプレス) **Welcome** ページで、青色バー項目の "support ffi" をクリックします。次の画面で、黄橙色バー項目の **Legacy Fund**, **Exchange Payments**, **Club Dues**, 3項目の中から選んでクリックし、現れた画面の指示に従って進めれば、オンラインで支払い手続きが完了します。比較的簡単で便利、しかも安全です。

C. 交換機会の追加（補完的な交換） Supplemental Exchange Opportunities

FFIによって計画され遂行されるレギュラー交換に加えて、クラブは数種類のタイプの補完的交換活動の機会があります。これらの交換の目的はレギュラー交換を補完するもので、年間レギュラー交換を確立した後で計画されるものです。

1. 国内(地域内)交換 Domestic Exchange

国内(地域内)交換は同じ国の中でクラブ同士が交換をすることです。国内交換はレギュラー交換活動を補完するもので、同じ国でも別の地域の会員たちと知り合う機会を供給するものです。国内交換は同じ国の中だけで実行するもので、その国の一つしかないクラブには、することができない訳です。国境を越えて隣国と行うことは認められません。国内交換をする場合は以下の手順に従ってください。:

- a. **スケジュールの組み方**：国内交換は、その年のレギュラー交換がすべて決定してから、クラブ同士で計画しましょう。
- b. **長さ**：国内交換の受入は1~7泊です。
- c. **フィー**：1~3泊の場合、FFIへのフィーは生じません。しかし4~7泊になった場合、一人当たり50ドルをFFIに払います。受入ホストフィーについては、クラブ間で話し合っ、ケースバイケースで決めてください。
- d. **報告の仕方**：2つのクラブ間でこの交換が成立した段階で、クラブ会長かEDがFFIに報告し、FFIのマスターカレンダーに登録して貰います。FFIは、そのクラブの年間FF活動として記録することになります。

2. ヨーロッパ クラブ間訪問 European Interclub Visits

EU加盟国間では、旅行制限が少なくなっている中で、この地域へ、EU外からのレギュラー受入交換数を出来るだけ多く確保するために、FFIは補完プログラムとして、EU間の訪問をEuropean Interclub Visitと呼んで、設定しています。この訪問はレギュラー交換より費用も少なく、短期間にデ

ザインされています。このクラブ間訪問は補完的なものです。レギュラー交換の替わりにするべきものではありません。

ヨーロッパ内で、1週間のレギュラー交換を望むヨーロッパのクラブは、例年のFFIへのレギュラー交換申込みプロセスを通して行うことが出来ます。国内クラブ交換を実施したいヨーロッパのクラブは、次の手順で行います。FFIの理事会は、他のFF活動を衰えさせたりすることがない様に、このポリシーを見直すことを続けながら、ゴールに向かった確実に進めていきたいと思えます。

ヨーロッパ内クラブ間訪問を希望する場合は、以下の手順で進めてください：

- a. **スケジュールの組み方**：EU内のFFクラブはお互いに訪問し合うことを計画することが出来ます。2つのクラブで直接計画を立てますが、これは、その年のレギュラー国際交換が確定してからにしてください。訪問スケジュールを決める時、クラブは将来、クラブ間訪問やレギュラー交換がリターン交換として起きてくる可能性を予め考慮に入れて決めるべきです。レギュラー交換リターンを、ヨーロッパクラブ間訪問リターンで置き換えることは認められません。
- b. **長さ**：ヨーロッパクラブ間訪問は、クラブ対クラブの場合、1~4泊が適当と考えられます。長距離でコストがかかるものは避け、遠いものは1週間のレギュラー交換とした方がいいでしょう。非公式でも、ヨーロッパクラブ間訪問を4泊以上に拡大することは許されていません。
- c. **一回に一度**：ヨーロッパクラブ間訪問の目的は、短くて安価にできる機会とすることです。普通は、週末休日を少し長くしたものであり、一回に一箇所のみ訪問です。同一の交換で、複数のクラブを訪問する権利は与えられていません。複数クラブを訪問することは、もっと複雑になり、時間やコストもかかります。ですからクラブ間訪問という基準には合いません。

ノート：一度の交換で複数クラブを訪問したいクラブはレギュラー交換を2週間と書いて希望を出してください。また、レギュラー交換に、新しい**ストップオーバーホスピタリティ**という形式を取り入れて、1~4泊の訪問を追加、組み合わせることが出来ます。**(次の3を見てください)** FFIは更に、ヨーロッパのリーダー達と話し合っ、特化した**“ディスカバー”プログラム**方式の

ものを用意しています(これには交換の一部として、複数の短いホームステイが含まれます)。

d. フィー:ヨーロッパクラブ間交換のFFIへのアンバサダーフィーは**25ドル**です。ホストフィーは基本的にクラブ間で話し合っただけでケースバイケースで決めてください。

e. 報告の仕方: クラブ間訪問が2つのクラブ間で成立した段階で、両クラブの会長かEDがFFIに報告し、FFIのマスターカレンダーに登録して貰います。FFIは、そのクラブの年間FF活動として記録することになります。

応えるかの方針を作るようお勧めします。あるクラブでは、ストップオーバーは受けることが出来ないが、地域のホテルやツアーについてアドバイスすることが可能と、決めることもあります。そのほか、ケースバイケースで考慮する、としても良いでしょう。FFIはこうした方法をまとめたクラブ方針を、喜んで各クラブに、お伝えいたします。

(石井・佐々木訳)

3. ストップオーバー ホスピタリティ *Stopover Hospitality*

ストップオーバーホスピタリティ(立ち寄りのおもてなし)は、レギュラー交換の前か後に、受入クラブの地域か通過地域で提供される1~3泊のホームステイです。目的は:

(a) レギュラー交換に、追加のホスティングを提供する。

(b) 受入クラブに追加のホスティングの機会を提供することです。

これを打診された受入クラブは、引き受ける義務はなく、都合が悪いなら、断ることは自由です。アンバサダーEDがストップオーバーホスピタリティを望む場合、**以下の手順で進めて下さい。**

a. スケジュールの組み方: ストップオーバーホスピタリティの計画は、**受入クラブとアンバサダーEDが直接連絡を取って行います。**受入クラブのレギュラー交換予定を阻害することなく計画すること。

b. 報告: 両クラブの間でストップオーバーホスピタリティが決まった段階で、アンバサダーEDと受入ED(または会長)が、FFIに、このストップオーバーを報告し、FFIのマスターカレンダーに登録して貰います。FFIは、そのクラブの年間FF活動として記録することになります。

c. フィー: FFIプログラムフィーは、**一人・一泊につき20ドル**です。受入クラブフィーはアンバサダーEDと受入クラブ間で直接話し合っただけで決められます。

d. クラブのストップオーバー方針: 特に、国際航空の出入口に位置する都市のクラブは、ストップオーバーホスピタリティの要求に、どう